

平成31年第1回教育委員会会議事録

1 開催日時

平成31年1月11日(金) 午後2時00分～午後2時41分

2 開催場所

教育委員会会議室

3 出席者

	教育長	菅野 勇次
教育委員	教育長職務代理者	小尾 一彦
	委員	瀧本 洋次
	委員	國安 環
	委員	東 みどり
事務局	教育部長	岡田 直之
	学校教育課長	山端 広和
	生涯学習課長	石野 郁也
	図書館長	武田 健吾
	給食センター業務係長	國安 弘昭
	総務係長	中山 仁
	学校教育係長	塚本 真敏
	学校教育推進員	中村 吉昭
	学校教育推進員	式見 貴美穂
	学校教育推進員	梶原 源基

4 議 事

報告第1号 平成31年度全国学力・学習状況調査への参加について

報告第2号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

議案第1号 幕別町後期中等教育を考える懇話会設置要綱を廃止する要綱

議案第2号 平成31年度入学の就学援助新入学児童生徒学用品費年度前支給の認定について

議案第3号 要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定について

5 議事概要 次のとおり

菅野教育長 ただ今から、第1回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1、会期の決定についてお諮りいたします。会期は、本日1日限りとすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、会期は本日1日限りと決しました。

次に、日程第2、会議録署名委員の指名についてであります。本日の会議録署名委員に、1番瀧本委員、3番國安委員を指名いたします。

次に、日程第3、前回会議録の承認であります。第15回教育委員会会議について別紙会議録のとおりでご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、第15回教育委員会会議を承認いたします。

次に、日程第4、事務報告についてであります。事務局の方から何かございますか。

(ありません。)

菅野教育長 ないようですので、次に議件に入ります。

次に、日程第5、報告第1号、平成31年度全国学力・学習状況調査への参加について説明を求めます。

学校教育課長(山端 広和) それでは、報告第1号平成31年度全国学力・学習状況調査への参加についてご説明申し上げます。

議案書の1ページをご覧くださいと思います。

来年度の全国学力・学習状況調査につきましては、昨年12月14日に文部科学省から実施要領が示されております。

町教育委員会といたしましては、本調査が児童生徒の学力向上に向けた取組の推進につながることから、来年度も本調査に参加するものであります。

1の調査対象とする児童生徒につきましては、小学校では第6学年、中学校では第3学年の児童生徒で、これまでと同様であります。

2の調査事項についてであります。はじめに教科については、小学校は昨年同様に、国語と算数になりますが、中学校については、国語、数学に加えて、新たに英語が追加となります。英語が追加された背景につきましては、文部科学省が設置する、全国的な学力調査に関する専門家会議の中で、平成29年3月に、全国学力・学習状況の実施における中学校の英語の実施に関する最終報告をまとめており、グローバル化が急速に進展する中で、学校で学ぶ生徒が卒業し活躍する社会は、国際的な協調と競争にあることが予測され、英語力の一層の充実を図ることが重要であることに加えて、生徒の将来的な可能性の広がりには欠かせないものと提言していること、さらに、次期学習指導要領の方向性として、小学校における外国語教育、中学校や高等学校における改善・充実が掲げられているなどの理由により、平成31年度から中学校英語が新たに追加となります。なお、当面、理科と同様に3年に1度の調査となる予定であります。

次に、議案に記載のとおり、主として「知識」や「活用」を一体的に問う内容の調査が実施されますが、この部分についても見直しとなるもので、これまでは、各教科において、Aと呼ばれる「基礎・知識」に関する問題と、Bと呼ばれる「応用・活用」に関する問題に分けて実施されておりました。問題を分けることで、一定の評価の声もありましたが、一方で、児童生徒のつまづきを把握する上では、知識と活用とを一体的に問うことが有効な場面もあり、昨年までの問題にあたってはA、Bの問題区分が絶対的なものではなくなりつつあるといった状況や、新しい学習指導要領の趣旨も踏まえ見直すというものであります。

配付の報告第1号説明資料をご覧ください。

追加になる英語の部分で言いますと、1ページ一番下になりますが、中学校の時間割の中で、英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の出題で45分、「話すこと」については、1学級が同時に調査を実施する予定で、準備を含め10～15分程度実施する予定であります。

次に、資料の2ページをご覧くださいと思います。

これは、文部科学省が出している来年度実施の学力テストのサンプルになります。

はじめに、英語については、めくりますと、3ページに話すことのイメージになりますが、実施に当たっては、各学校のPC教室の端末を使用し、ヘッドホンに小型のマイクが取り付けられたヘッドセットにより、音声録音方式で一学級が同時に調査を行うこととなります。詳細については、まだ示されておりませんが、パソコンの中に問題となる音源データを入力し、それを各生徒がヘッドホンで聞き取り、各自回答を発言し回答となる音源を保存する仕組みになる予定であります。

実施方法については、今後、会議が開催され示される予定となっており、このサンプルで示したとおり、問いが書かれて出されるのか、音源のみなのかは、定かではありませんが、いずれにいたしましても、生徒自らが答えを発言するという内容になる予定であります。

英語については、同じく、添付のとおり4ページ、5ページが「聞くこと」、6ページ、7ページが「読むこと」、8ページ、9ページが「書くこと」のサンプルを添付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

10ページ以降については、小学6年生の国語と中学3年生の数学のサンプルを添付しております。

小学6年生の国語のサンプルになりますが、14ページをご覧いただきたいと思っております。

両側の四角で囲まれた枠内に、出題問題の趣旨が書かれております。

従来は「知識」のAで出題していたり、「活用」のBとして出題していたりしたものを一体的に出題しようとするものであります。同様に、資料の21ページからは、中学3年生の数学のサンプルを添付しており、趣旨も記載されていますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

議案書の1ページにお戻りいただきたいと思っております。

質問紙調査については、例年同様となっており、調査については、4月18日であります。

以上で、説明を終わらせていただきます。

菅野教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

瀧本委員 英語の聞き取りで使用する、ヘッドホン等の機材はどのように準備するのでしょうか。

学校教育課長（山端 広和） ヘッドホン等の機材につきましては、文部科学省から後日送られてくる予定となっております。

菅野教育長 そのほかに質疑はございませんか。

（ありません）

菅野教育長 質疑なしと認めます。

報告第1号につきましては、報告のとおりといたします。

次に、日程第6、報告第2号平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、説明を求めます。

学校教育課長（山端 広和） 報告第2号、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、ご説明申し上げます。

議案書の2ページになりますが、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、別添のとおり報告するもので、添付の報告第2号説明資料をご覧いただきたいと思っております。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査につきましては、子供の体力や運動能力の状況を把握、分析し、体力や運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に本年度は、昨年4月から7月にかけて実施され、先月、北海道教育委員会から調査結果の公表がされたところであります。

町内の小学5年生、中学2年生の調査結果の概要についてであります。参加校及び参加人数につきましては、小中学校ともに、全ての学校が実施したところであり、参加人数は小学校が241人、中学校が220人でありました。

次に、体力・運動能力の概要についてであります。1の体格につきまして、小学5年生男子では、体重で全国平均を上回っておりますが、身長については、全国・全道平均を下回っており、女子については、身長・体重ともに全国・全道平均を上回る結果となっております。

次に、中学2年生男子では、身長については全国平均を上回っておりますが、体重では全国・全道平均を下回っており、女子は身長・体重ともに全国・全道平均を下回る結果となっております。

次に、2の体力についてであります。

8種目の実技調査になりますが、小学5年生では、全国平均を50としたときの体力合計点、いわゆるT得点で比較しますと、男女ともに、全国・全道平均を上回っております。資料をめぐっていただき、中学2年生になりますが、こちらについては、全体的な傾向としてT得点は男女ともに全国・全道平均を下回る結果となりました。

次に、運動習慣の概要についてであります。

小学生では34項目、中学生は31項目の質問紙調査を実施しておりますが、一般的にわかりやすい項目を抜粋して報告いたします。

はじめに、1の運動についての意識についてであります。体力・運動能力に自信があると答えた児童生徒の割合は、小学生は男女ともに全国・全道平均を下回り、中学生では男女ともに全国・全道平均を上回っております。また、運動が好き、運動は大切だと答えた割合については、小学生・中学生、男女いずれも全国・全道を上回っております。

次に、2の体育授業について感じていることについてであります。授業が楽しい、学んだことを授業以外でも行ってみたいと答えた児童生徒は、小中学生の男女いずれも全国・全道平均を上回っており、体育授業への興味の高さがうかがえます。また、体育授業で学んだ内容は将来に役に立つという回答は、小学生の男女はともに全国・全道平均を下回っておりますが、中学生については男女ともに全国・全道平均を大きく上回っております。

次に、3のオリンピック・パラリンピックへの気持ちにつきましては、自分も選手として出場してみたいという回答は、小学生男子を除き、全国・全道平均を上回っており、また、オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたいという回答は、小学生女子を除いて全国・全道平均を上回っており、オリンピック等への関心は高いことがうかがえる回答であったところであります。

なお、本町では平成26年度から、全国調査の対象となる小学5年生及び中学2年生以外の学年においても、体力テストを行っているところであり、各学校では児童生徒の調査結果を毎年記録し、経年変化の状況を把握しながら、児童生徒の目標を設定するなど、体力向上の充実を目指しているところであります。

なお、1月の校長会議、教頭会議で同様に報告した後、3月号の広報紙で公表したいと考えております。

以上で、説明を終わらせていただきます。

菅野教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません)

菅野教育長 質疑なしと認めます。

報告第2号につきましては、報告のとおりといたします。

次に、日程第7、議案第1号幕別町後期中等教育を考える懇話会設置要綱を廃止する要綱について説明を求めます。

学校教育課長(山端 広和) それでは、議案第1号、幕別町後期中等教育を考える懇話会設置要綱を廃止する要綱につきまして、ご説明申し上げます。

議案書は3ページになりますが、別に配付の議案第1号説明資料をご覧いただきたいと思っております。

この要綱は、平成27年9月1日に制定したもので、第1条に設置、第2条に検討事項を規定しておりますが、幕別町後期中等教育を考える懇話会を設置し、町内高等学校の中長期的な展望や振興策などについて検討するため制定したものであります。

これまでの検討経過については、平成28年6月に開催いたしました第7回教育委員会会議でお知らせいたしましたが、改めて概略について説明いたしますので、資料の2ページをご覧くださいと思います。

懇話会については、十勝教育研究所所長や中学校の校長、PTA会長、商工会長など10名の委員で組織され、平成27年10月21日に第1回の会議を開催し、これまで4回の会議を重ねてまいりました。

一番の検討課題といたしましては、少子化が進む中、中学校を卒業する生徒数が年々減少し、いかに本町に設置されている高校の入学者を安定的に確保していくかということでありましたが、ちょうど検討を始めた平成27年には幕別高校が2間口で募集しておりましたが、40人以上の欠員が生じたことから間口が減となり、道教委で策定する平成28年度から30年度の配置計画においても1学年1間口と決定された時期でもありました。

このことから、今後の中学校卒業者の減少等を考える際、幕別高校のみならず、江陵高校、中札内高等養護学校幕別分校も含め、本町の高校教育をいかに確保していくか、将来展望や振興策等について協議を進めてきたところであります。

第1回の会議では、現状と課題、第2回の会議では、中学生やその保護者向けのアンケートの実施について協議をしていただき、アンケートの項目としては、「高校の進学先を選ぶとき最も大切にすることは何か」ですとか、「進学したい学科は何か」、「今よりさらに魅力ある学校となるためには何が必要か」など、全15項目に絞り調査を実施することとし、第3回会議に記載のとおり生徒、保護者それぞれ約7割の回収を得たところであります。

第4回会議では、懇話会の委員からの意見やアンケートの調査結果を踏まえ、報告書としてまとめられ、平成28年6月10日に、懇話会会長から教育長に報告書が提出されました。

懇話会の意見といたしましては、大きく4点になりますが、一つ目に幕別高校が地域社会の維持発展に極めて重要な学校であることから、その存続について道教委に求めること、二つ目に道の指針において全日制課程の高校の望ましい学校規模が1学年4～8学級とされ、町内の2つの高校はいずれも下回っているため、教育環境の充実に向け、町教委として道教委に求めるなど最大限の努力を行うこと、三つ目に、アンケート調査結果を参考に、生徒、保護者が望む一定規模の普通科を中心とした道立高校を町内に残すとともに、地域社会の要請に適う高校設置について、町教委として抜本的に検討を行い、道教委に求めていくこと、四つ目に、町内中学校からの進学率を上げるため、町内3高校のPRを積極的に行い、支援策の拡充について検討すること、と提言があったところであります。

これを踏まえ、町教育委員会といたしましては、その後、道教委をはじめ、幕別高校、江陵高校との協議を重ねるとともに、道教委への再編統合に係る要望書の提出、さらには町内経済会をはじめ、両校同窓会やPTAなど各種団体から要望書を提出していただいたほか、町議会からも意見書を提出していただくなど、まちを挙げての要請活動を実施し、昨年9月4日に公表された公立高等学校配置計画で、「平成31年度に幕別町内において、私立江陵高校が募集停止となることや地域の要望などを考慮し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、幕別高校を募集停止し、普通科3学級の新設校を設置すること、また、江陵高校の校舎を使用すること」と決定されたところであります。

また、新たな校名についても、昨年10月10日に開催された北海道議会本会議において、「北海道幕別清陵高等学校」とすることに決定されました。

さらに、本年4月の開校に向け、幕別町の土壌や両校の伝統、特徴を生かした魅力ある学校となるよう、両校をはじめ、北海道教育委員会と協議を進めながら、高校支援を検討してきたところであります。

こうした経過から、幕別町後期中等教育を考える懇話会は、現時点での役目を終えたものと判断し、本要綱を廃止しようとするものであります。

議案書3ページにお戻りいただきたいと思えます。

附則についてであります。この要綱は平成31年4月1日から施行するとするものであります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

菅野教育長 説明が終わりました。これより質疑をお受けいたします。

(ありません)

菅野教育長 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。議案第1号について、原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、議案第1号については、原案どおり可決しました。

次に、日程第8、議案第2号、平成31年度入学の就学援助新入学児童生徒学用品費の年度前支給の認定について及び日程第9、議案第3号要保護・準要保護児童生徒に対する就学援助の認定につきましては、プライバシー保護のため秘密会といたします。これにご異議ありませんか。

(異議なし)

菅野教育長 異議なしと認め、秘密会といたします。

菅野教育長 秘密会を解きます。

議案については以上となりますが、このほか、皆さんからなにかございませんか。

(ありません)

菅野教育長 ないようですので、以上をもちまして、本日の日程が全て終了いたしましたので、第1回教育委員会会議を閉じます。